

毎週火曜掲載

教育に新聞を

▼実践▲

コラム

力試し

現場

# 松山高2度目文科大臣表彰

子どもの読書推進のため優れた活動をしているとして、宮城県松山高(大崎市)が2019年度文部科学大臣表彰を受けた。08年度以来で、2度目の受賞は県内初。全校で取り組む毎朝の読書活動、本の魅力を紹介し合うビブリオバトルの開催などが評価された。

## 宮城初、読書活動を評価

生徒174人は、登校するとホームルーム前の10分間、本を読む。漫画以外なら自由

に選べ、静かな中で思い思いに活字の世界を楽しむ。

生徒も朝の読書を好意的に

受け止めている。「以前より本を読むようになった」「本が好きになった」といった感想が聞かれるという。

朝の読書は04年に始めた。

当時も同校に在籍していた徳能順子校長は「生徒が本に親

しむことはもちろん、登校直後よりも落ち着いて集中して

授業に入ることができる」と

効果を語る。

総合学習にも読書を取り入れており、全校一斉のビブリ

オバトルを開催。生徒が学年

やクラスに関係なく縦割りの

グループに分かれ、本のス

トリーや魅力をアピールし合

う。

自身の考えを他者に伝える

コミュニケーション能力が向

上することに加え、生徒同士

が学年やクラスの垣根を越え

て交流できる機会にもなっ

てきた。

全国で28の高校が表彰され

た。学校司書の大場真紀主任

主査は「学校全体で本に親し

むための底上げ活動が評価さ



NIEの授業で新聞の見出しや写真を読み取り、生徒たち

いる。

新聞を授業に取り入れるN

IE活動、生徒がそれぞれ設

定した課題について1年かけ

て調べる課題研究の授業で、

地元の大崎市図書館から本を

借り受けるなど、活字を使っ

たさまざまな実践を行っている。

全国で28の高校が表彰された。学校司書の大場真紀主任主査は「学校全体で本に親しむための底上げ活動が評価されたと思う。本の面白さに目覚める生徒が1人でも増えたら、うれしい」と話した。



朝の読書の時間に本を読む生徒たち